

「わたしたちのくらしとパッケージ」

～「プラっとサーチ」を使って、環境への取組を知ろう！～

■日時：2025 年 10 月 8 日(水) 9：25～10：10

■学校：品川区立御殿山小学校 5 年生 4 クラス 116 名

■プラっと探検隊：10 名

(株)エフピコ、花王(株)、大日本印刷(株)、TOPPAN(株)、(株)ニチレイフーズ、
日清食品ホールディングス(株)、日鉄リサイクル(株)、マルハニチロ(株)、
森永乳業(株)、山崎製パン(株)、雪印メグミルク(株)、ライオン(株)

運営スタッフ：大日本印刷(株)、(有)ラウンドテーブル、プラ推進協事務局

■開催方法：体育館で全員集合して授業実施



初めて知った！「パッケージの役割」

パッケージには、「中身を守る」「便利にする」「情報を伝えるなど」の役割があります。中身の商品は、パッケージに包まれているからお店に運ばれて、家に持って帰れます。また、菌や虫、紫外線などから中身を守っていることや、お店でパッケージのデザインや表示を見て選ぶことができるなど、パッケージの役割を説明しました。

児童たちは、「パッケージのいろんなことを知ることができた」「こんなにパッケージが役に立っていることを初めて知った」など、普段気にしていなかったパッケージの役割や

生活に役立っていること、さらに、中身を食べてり使った後、捨てられるパッケージの量を知って、とて



も驚き、新しい知識が得られたことに喜びを感じてくれていました。

クイズ「環境に配慮しているパッケージはどれ？」

隊員の所属の企業のカップ麺、冷凍食品、チーズ、パン、食品トレーや洗剤のパッケージを配布して、「これらの中で環境に配慮した工夫をしているパッケージはどれでしょう？」というクイズを出しました。「この商品だと思う人」という問いかけに、皆、一所懸命考えて手を挙げていました。

「正解は全部です！」の回答に、皆、へえ～！っと驚きの声。



具体的にどこをどのように環境にやさしい工夫をしているかを説明しました。

児童たちは、プラスチックのパッケージよりも紙のパッケージの方が環境にやさしいと思っていたそうですが、いつも普通に食べている商品のプラスチックのパッケージが工夫されていることを初めて知り、驚いていました。

プラっとサーチを使って調べてみよう！

児童たちと隊員たちは少人数のグループに分かれ、「プラっとサーチ」を使って、様々な商品のパッケージの環境に対する工夫を調べました。

児童たちは、「食べたことがある」、「今日の朝も食べた」、「この商品が好き」といった商品を見つけ、いいね！を押すワークに熱中していました。



どのグループでも、「リデュースにも色々な方法があることがわかった」「一つの商品では少しの量しかエコではなくてもたくさん売ることからたくさんの量を削減できるということもわかった」「身の回りに環境にやさしい、いろいろな工夫が施されていて驚いた」といった意見が多かったです。授業後のアンケートにも「商品を見ただけではわからないが、たくさんの商品が工夫されていることがわかった」「これからはプラットサーチを使い、いろいろなことを学びたい」「プラっとサーチをもっと家でも使いたいと思った。サイズ変更を結構していることにビックリした。これからは環境に優しい商品を選ぼうと思った。」「プラットサーチ、面白い！」「プラっとサーチを他の人におすすめしようと思います」といった意見が

たくさんありました。

毎年、プラっとサーチに各企業の新しい工夫事例を追加していますが、児童たちの反響に隊員たちも事業活動のモチベーションがあがりました。



身近な商品と一緒に調べる～自分ごと化

「私がよく食べるアイスも工夫されていてびっくりした」、「給食で出るストローレス牛乳は飲みにくい、衛生面が気になると思っていたけれど、調べてみたらプラスチックの使用量が減ることがわかって、今度からエコも考えようと思った」など、身近な商品だからこそ、環境配慮の工夫がされていることに驚き、その驚きが「今度から環境のことも考えていきたい」という意識に変換されていくことを実感しました。「この包材は無くしてそのままで売ればいい」「プラっとサーチにもっとお菓子の事例もあったらいいのに」などのアイデアも出してくれて、児童と隊員のコミュニケーションも活発に。

「授業前はやだなあと思っていたのですが、やってみるととても楽しかったです。」という児童の素直な感想に、隊員たちも喜びを感じました。児童たちの素直な反応に、持続性社会の実現の可能性を感じました。

